

館山に会員制ホテル

アイ・ブロードキャスト 空き施設活用

ソフトウェア開発のアイ・ブロードキャスト（東京・目黒、上田拓右社長）

は年内に、千葉県館山市で会員制ホテルを開業する。空き保養所を活用し、約1億3000万円を投じて改修する。主にIT（情報技術）企業などの合宿利用を見込み、今後2年間で会員300社を集める方針だ。地元では10人程度の新規雇用も計画しており、地域活性化にもつなげる。

新たな会員制ホテルは

「ウエストペンシユラホテル」で、地上7階・地下1階。客室全16室から海を眺望でき、温泉やレストランなどを備える。

建物は関東ITソフトウェア健康保険組合（東京・新宿）が所有し、現在は利用していない保養所「トスラブ館山」を譲り受けた。取得額は公表していない。改修費約1億3000万円は千葉銀行の「ちばぎん地方創生融資制度」を活用して調

達した。
会員の募集では法人に

ターゲットを据える。主にIT企業が泊まり込みで商品開発を行う「開発合宿」の需要を見込む。会員料金などは今後詰めるが、例えば「年間10泊」などの利用枠を設けて販売することを検討してい

る。ホテルは富浦インターチェンジ（IC、千葉県南房総市）から車で15分ほどの場所にあり、東京都心からも車で90分程度。海沿いで眺めも良く、冬場も比較的温暖だ。こうした立地条件を売り物

に、会員の獲得を狙う。アイ・ブロードキャストは2000年に設立し、インターネットの動画配信システム開発などを手掛けてきた。今後はホテル事業を柱に据えていく。